



川上(かわかみ)※方言名：コッチ

川上集落は周りを山々に囲まれ、大きく赤木名又、鍋比(ナベグル)、上田(アゲタ)、宇津、小森、肥田(ヒージャ)の6地域に分かれています。今では主要農産物はサトウキビとなりましたが、昔は稲作が盛んでその名残として高倉が点在しています。この高倉は奄美市の一集落1ブランドに指定されています。

川上地区はヒージャ、イオンシマ、コモリ、ウツ、ユビノ又、アゲタ、ヤマデガマ、ナーマタ、ヤンバテ、ハシキャン又、ナベグル、ハキナ又と小規模部落の12部落からなる。地域の人々は『昔から我々は「集落」ではなく「〇〇部落」と呼んでいたので「部落」の方が親しみがある』と言う。そこで、ここでは〇〇部落という呼び名を使用する。

海に面しない川上地区は、4つの谷筋に数軒単位で部落を形成し、泉や小川を利用した棚田やソテツバテを利用した栽培植物でのほぼ自給自足の生活が基本となっている。マタタ谷戸)や田んぼが多く稲作が盛んに行われており、作場が居住域にもなる。生活道路は、屋仁地区と笠利地区に通じる山道と赤木名地区や尾根道に続く山道が今も古道として残る。

川上集落では、すでに集落を離れた郷友会の皆さんと一緒に散策を行うために部落跡やイジュンゴなどを巡る「ふるさと交流巡回コース」を設定しており、このコースはまさに「シマのエコツアー」のモデルである。

●ふるさと交流巡回コース

(1コース) 川上公民館～ハキナ又(赤木名又)コース

①戦没者慰霊碑 ②イジュンゴ

(2コース) ターチジ～ナベグル(鍋比)・マシチャ・ハキナ又(赤木名又)墓地コース

③ターチジの拝み石

(3コース) ハシキャン又～ヤンバテ・ナーマタへのコース

④水源地(ダム)

(4コース) ヤマデガマ～アゲタ(上田)へのコース

⑥高倉

(5コース) コモリ(小森)～ウツ(宇津)・イオンシマ・ハサマ・ヒージャ(肥田)・川上公民館コース

⑤サタヤドリ跡



戦没者慰霊碑(1コース)

川上公民館横の小高い公園には大きな慰霊碑が建立されている。碑には、薩摩にいる西郷隆盛に陳情に行った奄美群島の若者も参戦し、その多くが戦死した西南戦争をはじめとして、日露戦争、支那事変、大東亜戦争での戦没者の名前が刻まれている。



イジュンゴ(1コース)

屋仁から赤木名又(ハキナ又)の峠を登る県道脇には、赤木名又の人々が飲料水として利用していたイジュンゴが大きな木の下に今も残る。赤木名に行くため県道を利用する人たちも山越えの前と後にこのイジュンゴで休憩をして峠越えをしていたという。



ターチジの拝み石(2コース)

ターチジの頂上付近に拝み石がある。「昔はユタ神様が拝んでいたと言われている。」この道は昔、赤木名のミジョラに降りる生活道路でもあった。今は一部崩れているため通れないが、眺めもよい場所である。この他に笠利、赤木名に行く古道が多く、時期によってはケラマツツジやフヨウの花が綺麗である。



水源地(ダム)(3コース)

ハシキャン又～ヤンバテ・ナーマタへのコース内
川の上流にはダムがあり、川上集落の他、赤木名、手花部、屋仁、佐仁地区の飲料水に利用されている。



サタヤドリ跡(5コース)

ヤマデガマ～アゲタ(上田)へのコース内
現在は畑となっている。



高倉(4コース)

コモリ～ウツ(宇津)・イオンシマ・ハサマ・肥田・川上公民館へのコース内
奄美市の一集落1ブランドに指定されている。